

# こだわり米肥料のタイプ別使用

## 【Aタイプ】：基肥+追肥の栽培体系

- 生育の状況に応じて追肥ができる。
- 倒伏しやすい品種に有効。

タイプ別	散布別	銘 柄	10a最大 使用量
【Aタイプ】	基肥	みやぎ仙南特別栽培米基肥専用肥料【10-14-7】	～50kg
	追肥	みやぎ仙南特別栽培米追肥専用肥料【10-4-10】	～15kg

### ○みやぎ仙南特別栽培米基肥専用肥料の特徴

良質な有機質肥料50%以上を組み合わせ、チッソ、リンサン、カリの各成分の緩効的な肥効をもっています。通常の肥効は60～70日程度と考えられます。燐安等の速効性窒素成分も配合され、側条施肥にも好適な粒状肥料です。

### ○みやぎ仙南特別栽培米追肥専用肥料の特徴

燐安等の速効性窒素成分を主体とし、配合された粒状肥料です。有機質肥料成分が50%であり、化学肥料より5日程度早く施肥しましょう。

### 《使用例》

散布別	銘 柄	使用量	成分量
基 肥	みやぎ仙南特別栽培米基肥専用肥料【10-14-7】	40kg	N：4kg、P：5.6kg、K：2.8kg

○南部平坦部のひとめぼれは40kg/10a、山間高冷地及び西部丘陵地帯では45～50kgが目安です。  
 ＊山間高冷地：標高250m以上、西部丘陵地帯：100～250mの地帯です。

葉色低下及び穂肥

### 【一般的な使用量】

散布別	銘 柄	使用量	成分量	穂肥の時期
穂 肥	みやぎ仙南特別栽培米追肥専用肥料【10-4-10】	10～ 15kg	N：1.0～1.5kg P：0.4～0.6kg K：1.0～1.5kg	出穂前15日が 目安

## 追肥最大使用量

銘 柄	成分表	使用量	
JAみやぎ仙南特別栽培米追肥専用肥料	【10-4-10】	基肥40kg使用した場合	～25kg
		基肥45kg使用した場合	～20kg
		基肥50kg使用した場合	～15kg

※基肥で50kg/10a使用した場合は追肥で最大15kg/10aとなります。

## 【Bタイプ】：基肥一発の栽培体系

- 栽培の省力化。(追肥ができない場合に有効的)
- 晩生品種に有効。(つや姫栽培に適している。)

タイプ別	散布別	銘 柄	10a最大 使用量
【Bタイプ】	基肥 一発	みやぎ仙南特別栽培米基肥一発肥料【12-9-10】 (いいね有機一発290)	~50kg

### ○みやぎ仙南特別栽培米基肥一発肥料の特徴

有機態チッソが50%以上入っており、春先の低温時には分解が遅れ、稲の生育が遅れることがあります。(この肥料の化学由来窒素はコーティング肥料でできており、温度によって肥効がでるようになっています。)通常の肥効は70~80日程度と考えられます。燐安等の速効性窒素成分も配合され、側条施肥にも好適な粒状肥料です。

注) 倒伏しやすい品種及び地力が高い圃場では1割程度少なめに施用して下さい。

### 《使用例》

散布別	銘 柄	使用量	成分量
基肥一発	みやぎ仙南特別栽培米基肥一発肥料【12-9-10】 (いいね有機一発290)	40kg	N:4.8kg、P:3.6kg、K:4.0kg

○南部平坦部のひとめぼれは40kg/10a、山間高冷地及び西部丘陵地帯では45~50kgが目安です。

\*山間高冷地:標高250m以上、西部丘陵地帯:100~250mの地帯です。



### ○みやぎ仙南特別栽培米追肥専用肥料の特徴

燐安等の速効性窒素成分を主体とし、配合された粒状肥料です。有機質肥料成分が50%であり、化学肥料より5日程度早く施肥しましょう。

## 追肥最大使用量

銘 柄	成分表	使用量	
JAみやぎ仙南特別栽培米 追肥専用肥料	【10-4-10】	基肥40kg使用した場合	~15kg
		基肥45kg使用した場合	~10kg
		基肥50kg使用した場合	~5kg

※基肥で50kg/10a使用した場合は追肥で最大5kg/10aとなります。

## 【Cタイプ】：苗箱施肥+有機質肥料を使用した栽培体系

○栽培の省力化。

**注**：有機質肥料を必ず施用して下さい。

○耐倒伏性品種に有効。

タイプ別	散布別	銘 柄	備 考	10a最大 使用量
【Cタイプ】	苗箱 施肥	苗箱まかせNK301- 60日【30-0-10】	いずれか 1種類使用	～11kg
		苗箱まかせNK301-100日【30-0-10】		
		苗箱まかせNK301-100日B【30-0-10】		
	基肥	味好1号【6-8-4】	いずれか1種類を 本田施肥	20kg～ <b>(必須)</b>
有機アグレット666特号【6-6-6】				

### ○苗箱まかせNK301-60、NK301-100、NK-100Bの特徴

コーティング肥料でチツソとカリが成分です。この肥料は播種時に苗箱に施肥し育苗をした後、田植えを行い、追肥を行わない栽培方法です。育苗期間は肥料が溶け出す量を極少に抑制し、田植え後から地温の上昇に応じて本格的に溶け出します。水稻の養分吸収に合わせた溶出なので、過不足ない養分供給ができます。水稻の根元に施肥されるので肥料の利用率が高く、減肥ができます。

\*地力の低い水田、気温の低い地域などでは、茎数も確保し易い60日タイプをお勧めします。

\*育苗期間の高温条件で溶出が高まり、生育障害を起こす危険があるので温度管理に十分注意して下さい。

\*NK301-100日Bは60日タイプと100日タイプの混合品です。

### ○苗箱まかせNK301-60、NK301-100、NK-100Bの施肥法

- ①従来の施肥チツソ量（基肥+追肥）を基準に10%以上の減肥が可能。
- ②本田に植え付ける箱数を決める。
- ③ ①②から一箱に入れる肥料のチツソ分量を計算する。
- ④更に使う苗箱まかせの分量から肥料現物量を計算する。
- ⑤施肥現物量に応じて床土量を減らす。
- ⑥育苗肥料（化学肥料）をチツソ1g/箱入れる。（育苗培土で良い。）
- ⑦床土にあらかじめ苗箱まかせを混合する方法（床土混合施肥）、又は床土を入れた後に苗箱まかせを施肥する方法（層状施肥）のいずれかで作業する。
- ⑧この肥料にはリン酸が含まれていませんので、リン酸分は事前に本田に施用する。

### ○味好1号・有機アグレット666特号の特徴

有機質原料（天然資材100%）として各種動植物を使用。側条施肥に対応の粒状品です。

#### 《使用例》

散布別	銘 柄	苗箱数	箱当り 使用量	10a当たり 現物量	化学由来 N成分量
苗箱施肥	①苗箱まかせNK301-60日タイプ 【30-0-10】	20枚	550g	11kg	3.3kg/10a
基 肥	②味好1号【6-8-4】			20kg	<b>(必須)</b>

\*上記のチツソ成分は①で3.3kg/10a、②で1.2kg/10aとなり総チツソ量は4.5kg/10aとなります。

①苗箱まかせNK301-60【30-0-10】と②味好1号を使用し、化学由来N成分量を減らすことにより、こだわり米となります。

## 放射性物質吸収抑制対策

放射性物質（セシウム）の吸収を抑制するため、土壌中のカリ成分の維持を意識した土づくりが必要となります。圃場へのカリ肥料散布は、基肥散布時期（4～5月上旬）に実施しましょう。

銘柄	施肥の目安（10aあたり）	
塩化加里【K：60.5%】	前作が水稲で「稲わら」をすき込んだ圃場	5～10kg/10a
	前作が水稲で「稲わら」を持ち出した圃場	10～25kg/10a

## 根の活力向上、稲体の健全化、登熟歩合・食味向上対策

銘柄	成分	散布時期	10a使用目安
けい酸加里 プレミア34	けい酸34%、加里20%、 苦土4%、ほう素0.1%	基肥	基肥 40～60kg
		追肥	追肥 20～40kg

## こだわり米除草剤の使用

雑草の種類毎に効果のある除草剤の農薬成分を選択しなければなりません。管内でも地域的に抵抗性オモダカが発生しており、多発している圃場と発生していない圃場、また圃場条件（漏水田等）、その他雑草多発圃場等、条件に合わせた対応が必要となります。効果的な雑草防除に心掛けましょう。

下記により体系処理と従来の一発処理の選択により防除効果を高めることが重要です。

### ◎一発処理（初中期一発処理剤）

散布条件： ①移植同時処理をする圃場  
②抵抗性雑草が少ない圃場 ③水もちが比較的良好な圃場

農薬名	使用量（10aあたり）	留意点	使用時期
アットウZ1キ口粒剤	1kg	いずれか 1剤使用	◎移植時 ◎移植直後～ノビエ4葉期まで ただし、収穫60日前まで
アットウZフロアブル	500ml		◎移植後3日～ノビエ4葉期まで ただし、収穫60日前まで
アットウZジャンボ	400g		◎移植後3日～ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで
アットウZ400FG	400g		

### ◎体系処理（初期剤＋初中期一発処理剤）

散布条件： ①漏水がちな圃場 ②抵抗性雑草が多い圃場 ③前年雑草多発圃場

農薬名	使用量（10aあたり）	留意点	使用時期
ピラクロン1キ口粒剤	1kg	いずれか 1剤使用	◎移植時 ◎植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1.5葉期まで ただし、移植後30日まで
ピラクロンフロアブル	500ml		
ピラクロンジャンボ	300g		◎植代後～移植7日前又は移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで
ピラクロン300FG	300g		

+

農薬名	使用量（10aあたり）	留意点	使用時期（目安）
アットウZ1キ口粒剤	1kg	いずれか 1剤使用	◎初期剤を植代後～移植7日前散布の場合： 移植後5～10日に散布
アットウZフロアブル	500ml		
アットウZジャンボ	400g		◎初期剤を移植時、または移植直後～ 移植7日後散布の場合：移植後10～15日散布
アットウZ400FG	400g		

\*アットウZ及びピラクロンには抵抗性オモダカに効果の高い成分「ピラクロニル」が入っています。

近年仙南管内で増えてきている、畦畔侵入雑草のイボクサ（特殊雑草）にもテフリルトリオン配合により効果を示します。

\*使用前にはラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないでください。